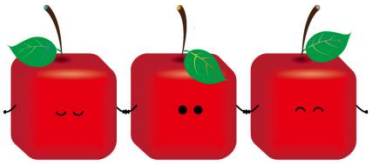

Academic Link
Chiba University | Academic Link Center

1210あかりんアワー　教員が研究の楽しさを語る
第3回（5/8）　山田賢先生推薦　ブックガイド

※掲載されている本はN棟3階ブックツリーのテーマ展示コーナーに配架されます。

Book1

秘密結社

著者：綾部恒雄　出版社：講談社
コメント：原本は1988年に『秘密の人類学』として、アカデミア出版会から刊行されたもの。四半世紀を経たいまでも、秘密結社とは何か？という問いに答えるにあたって、きわめて有用な示唆を与えてくれる基本文献としての価値を失わない。

Book2

結社が描く中国近現代（シリーズ〈結社の世界史〉第2巻）

綾部恒雄監修・野口鐵郎編　出版社：山川出版社
コメント：『結衆・結社の日本史』（第1巻）、『アソシアシオンで読み解くフランス史』（第3巻）、『結社のイギリス史』（第4巻）、『クラブが創った国　アメリカ』（第5巻）とともに刊行された、シリーズ〈結社の世界史〉の中の一冊。
※このシリーズの他の巻は本館K棟3階A 361.6/KESに配架されています。

Book3

中国の秘密結社

著者：山田賢 出版社：講談社
コメント：中国近世の秘密結社を、それが果たしていた社会的機能という観点から叙述したものとしては、日本語で刊行された初めての概説だったのはないかと思う。

Book4

中国化する日本　日中「文明の衝突」一千年史

著者：與那覇潤　出版社：文藝春秋
コメント：中国大陸・朝鮮半島・日本列島、各地域の近世社会の差異を知っておかないと、なぜ中国大陸で秘密結社が猖獗を極めたのかも理解できない。この問題に触れた著作は多いのだが、とりあえず入り口として昨年評判になったこの本を挙げておこう。
興味を持ったらここから他の参考文献を参照して欲しい。
※この資料は2012年度歴史学1・2の授業資料ナビとして
本館N棟2階ブックツリー授業資料ナビコーナーにも配架されています。